

# 減災対策取組のフォローアップについて



大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期	スケジュール(上段:計画、下段:実績)					H29取組内容	H30以降取組内容	取組に向けた課題	
					H28	H29	H30	H31	H32				
ハード対策	■洪水を河川内で安全に流す対策	河道掘削(鈴金、西丹羽地区) <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">資料①</span>	函館開発建設部	~平成32年度	■	■	■	■	■	鈴金、西丹羽地区において実施	順次実施予定		
		堤防浸透対策(上住吉、住中、奥沢、中里、花石地区)	函館開発建設部	~平成32年度	■	■	■	■	■	住吉、奥沢地区において実施	順次実施予定		
	■危機管理型ハード対策	堤防天端の保護(西丹羽、鈴金、神丘、オチャラツペ、住中、奥沢、中里、花石地区)	函館開発建設部	~平成32年度	■	■	■	■	■	今金、住吉、住中、花石地区において実施	順次実施予定		
		■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築	函館開発建設部	平成28年度から実施	■	■	■	■	■	情報提供の実施	リバイス作業	
			洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">資料②</span>	函館開発建設部	平成30年度から実施			■	■	■	-	平成30年5月1日以降から運用開始 今後、配信訓練を予定	
			水防拠点の整備	函館開発建設部	~平成32年度	■	■	■	■	■	水防拠点設置箇所の比較検討	整備内容の設計検討、関係機関との調整	
早めの情報共有による円滑かつ迅速な避難行動のための取り組み	■情報伝達、避難計画等に関する事項	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し、避難経路の検討	せたな町、今金町	~平成30年度	■	■	■	■		概略検討	詳細検討		
		タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">資料③</span>	函館開建、函館地方气象台、榎山・渡島総合振興局、道警函館方面本部、せたな警察署、せたな町、今金町、せたな・今金消防署	平成29年度から実施		■	■	■	■	タイムラインを活用した情報伝達演習、関係機関が連携したタイムラインを検討	情報伝達演習、関係機関が連携したタイムラインの運用・振り返り		
		各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容についての町職員向けマニュアルの作成	せたな町、今金町	~平成32年度	■	■	■	■	■	資料整理作業	資料整理作業		
		要配慮者名簿の作成や緊急連絡体制、避難誘導体制の整備、地域防災計画の見直し	せたな町、今金町	~平成32年度	■	■	■	■	■	資料整理作業	資料整理作業		
		災害時要配慮者利用施設における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	せたな町、今金町	~平成32年度	■	■	■	■	■	施設管理者への指導、訓練計画の検討	施設管理者への指導継続		
		分かりやすい洪水予報伝文への改良	函館開発建設部	平成28年度	■	■				平成28年度改良作業終了	-		
		気象情報発信時の「危険度分布」や「警報級の可能性」の提供開始 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">資料④-1~3</span>	函館地方气象台	平成29年度から実施		■	■	■	■	H29.5.17警報級の可能性の提供開始 H29.7.4大雨警報(浸水害)・洪水警報の危険度分布提供開始	H30.5.30大雨(浸水害)・洪水警報等の基準改正		

大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期	スケジュール(上段:計画、下段:実績)					H29取組内容	H30以降取組内容	取組に向けた課題	
					H28	H29	H30	H31	H32				
早めの情報共有による円滑かつ迅速な避難行動のための取組み	■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	函館開発建設部	平成28年度	■					H28.10.31公表	-		
		想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップ及びまるごとまちごとハザードマップの作成と周知 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">資料⑤-1~2</span>	函館開建、せたな町、今金町	平成29年度から実施		■	■	■	■	■	想定最大規模の浸水想定に基づいたせたな町洪水ハザードマップH30.12周知 今金町洪水ハザードマップH30.3周知	リバイス作業、まるごとまちごとハザードマップ作成支援	
		小学生等を対象としたコンテスト形式によるポスター作成・公共施設への掲示や水防災に関する出前講座・講習会の実施、 <b>新学習指導要領に基づく防災教育について学校教育現場への支援</b>	函館開建、函館地方気象台、榎山・渡島総合振興局、道警函館方面本部、せたな警察署、せたな町、今金町、せたな・今金消防署	平成29年度から実施		■	■	■	■	■	新学習指導要領に対応した防災教育の指導計画の作成支援を開始	水防災に関する出前講座・講習会の企画策定、防災教育の指導計画を流域や振興局協議会にも情報共有	
		関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">資料⑥-1~4</span>	函館開建、函館地方気象台、榎山・渡島総合振興局、道警函館方面本部、せたな警察署、せたな町、今金町、せたな・今金消防署	平成29年度から実施		■	■	■	■	■	せたな町と今金町で水害タイムライン講演会を開催、住民避難訓練と連携し防災講演会を実施等	順次実施予定	
		ホームページ等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実	函館開建、函館地方気象台、榎山振興局、せたな町、今金町	引き続き実施		■	■	■	■	■	協議会実施状況等の掲載	リバイス作業	
避難行動に必要な時間を稼ぐための水防活動に関する取組み	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項	毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	函館開建、渡島総合振興局、せたな町、今金町、せたな・今金消防署	引き続き実施		■	■	■	■	リバイス作業、協同点検の実施	リバイス作業、協同点検の実施		
		関係機関が連携した急激な水位上昇を想定した水防訓練を継続実施 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">資料⑦</span>	函館開建、渡島総合振興局、道警函館方面本部、せたな警察署、せたな町、今金町、せたな・今金消防署	引き続き実施		■	■	■	■	■	水防工法現地講習会等	水防工法現地講習会等	
		迅速な水防活動を支援するため、中上流部における一時的な保管方法を検討の上、水防資機材を充実	函館開建、渡島総合振興局、せたな町、今金町	平成28年度から実施		■	■	■	■	■	開発:水防拠点の整理と水防資材の格納状況の確認 他機関:水防資材等の格納状況の確認	幹事会にて情報共有	
		的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員(消防団)の確保を図る	せたな・今金消防署、榎山振興局	平成28年度から実施		■	■	■	■	■	実施	継続実施	
		自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	函館開建、榎山振興局、せたな町、今金町	引き続き実施		■	■	■	■	■	確認済み	継続実施	
	■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項	浸水想定区域内の拠点施設(病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進	せたな町、今金町	平成28年度から実施		■	■	■	■	資料整理作業	ハザードマップの配布や情報共有		
社会経済活動の早期復旧のための取組み	■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組み	想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成	函館開建、渡島総合振興局、せたな町、今金町	~平成31年度 *平成32年度から変更		■	■	■	■	資料整理作業	氾濫リスクが高く優先度の高い箇所の排水作業準備計画を作成		
		訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">資料⑧</span>	函館開建、渡島総合振興局、せたな町、今金町	平成28年度から実施		■	■	■	■	■	確認済み	継続実施	

# 減災に関する取組の実施状況(ハード対策)

資料①

○減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に基づき河道掘削、堤防整備、天端保護を実施。



- 平成30年5月1日から洪水情報のプッシュ型配信の運用を開始
- 函館開建HPで公表や町の広報でチラシを配布、今後、住民避難訓練の際に配信訓練を予定

## 広報チラシ表面

平成30年5月1日からせたな町・今金町で緊急速報メールを活用した後志利別川洪水情報のプッシュ型配信を開始します！

※1 「洪水情報」とは、洪水予報指定河川の氾濫危険情報（レベル4）及び氾濫発生情報（レベル5）の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。  
 ※2 「プッシュ型配信」とは、受信者が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組みです。

**開始日** 平成30年5月1日（火） **配信エリア** せたな町・今金町

**配信対象者** 配信エリア内の携帯電話等（NTTドコモ、KDDI(au)・沖縄セルラー、ソフトバンク(ワイモバイル含む)）のユーザー対象

**洪水情報のプッシュ型配信イメージ**

**配信する情報** ■対象河川と観測所：【後志利別川】今金観測所  
 ■配信する情報及び配信するタイミング：氾濫危険水位を超えた時及び河川氾濫が発生した時

**「氾濫危険水位を超えた時」及び「河川氾濫が発生した時」のメール配信例**

**氾濫危険水位を超えた時の情報**

緊急速報（受信）メール【見本】

件名：河川氾濫のおそれ

本文：後志利別川の今金（久遠郡せたな町●●）付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。堤防が壊れるなどにより浸水のおそれがあります。防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください。本通知は、北海道開発局自衛隊防衛建設部より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。（国土交通省）

**河川氾濫が発生した時の情報**

緊急速報（受信）メール【見本】

件名：河川氾濫の発生

本文：後志利別川の久遠郡せたな町●●地先●●K（●●地、●●町）付近で河川の水位が堤防を超えて溢れ出ています。防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください。本通知は、北海道開発局自衛隊防衛建設部より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。（国土交通省）

**留意事項**

- 携帯電話等の電源が入っていない場合や、圏外、電波状況の悪い場所、機内モード時、通話中、パケット通信中の場合は受信することができません。
- ご利用の機種により、緊急速報メールに対応していない場合があります。
- 緊急速報メールを受信するために、受信設定が必要な場合があります。詳細については、各携帯電話会社のホームページからご確認ください。
- 携帯電話事業者ごとの基地局や通信システムの関係により、配信対象となる市町村よりも広範囲のエリアに緊急速報メールが送信されることがあります。
- 河川氾濫発生についてのメール配信は、河川管理者が氾濫を把握した後の配信となることをご了承ください。

【お問い合わせ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部 工務課 ☎0138-42-7604  
 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部 今金河川事務所 ☎0137-82-0041  
 せたな町役場 総務課 防災係 ☎0137-84-5111

## 広報チラシ裏面

# 大雨が降ったらチェック！

## 国土交通省 川の防災情報

身近な「雨の状況」「川の水位と危険性」「川の予警報」などをリアルタイムでお知らせするウェブサイトです。

川の水位や雨の現在の状況がわかります。

- 水位の変化に応じて予警報が発表されると川の表示の色が変わります。
- カメラのアイコンをクリックすると、現在の川の状況をカメラ画像で確認できます。
- レーダーによる雨の状況もわかります。

都道府県単位での表示 市町村単位での表示 カメラ画像

現在の氾濫の危険性がわかります。

- 川の水位が上昇している時は水位情報と共に「↑」上昇中の表示がされます。
- 近くの川の水位が高いほど、身近で氾濫する可能性が高まります。
- 氾濫の危険性が高まっている川の近くでは、身の安全の確保を図るなど、適切な防災行動をお願い致します。

お手持ちのスマートフォン等で川の防災情報を見ることができます。

GPS機能により、即座にあなたが居る場所の状況を表示できます。

**アクセス！**

- パソコンから <http://www.river.go.jp/>
- スマートフォンから [www.river.go.jp/s/](http://www.river.go.jp/s/)

QRコード

PC版 スマート版

# 後志利別川流域タイムライン 検討経緯と今後の予定

資料③

平成29年9月13日

## ○流域タイムラインへ検討会発足式

- ・挨拶～函館開建部長  
せたな町長、今金町長、  
函館地方気象台長  
(検討会の各長による決意表明)
- ・アドバイザーによる講演



流域タイムライン発足式



第1回検討会 台風18号振り返りWS



第4回検討会

平成29年9月28日

## ○第1回タイムライン検討会（ワークショップ形式）

- ・台風18号防災対応の振り返り（対応行動と問題・課題の抽出）
- ・L2浸水想定ハザードと浸水シナリオ（気象台・開建）

平成29年11月10日

## ○意思決定ワーキング（事務局4者による作業WG）

- ・意思決定の内容、タイミング、決定方法の検討
- ・関係部署の防災行動の抽出と対応人員・必要時間の見積もり

平成29年12月4日

## ○第2回タイムライン検討会（ワークショップ形式）

- ・防災行動項目と実施タイミングの検討
- ・防災対応上の問題点・課題の対策検討

平成30年1月18日

## ○第3回タイムライン検討会（ワークショップ形式）

- ・防災行動項目と実施タイミングの検討
- ・防災対応上の問題点・課題の対策検討⇒タイムライン1次案

平成30年3月1日（第4回検討会は暴風雪により延期）

平成30年3月8日

## ○事務局4者他による作業WG

- ・TL1次案の内容確認、自治体連携や今後の進め方の検討

平成30年5月23日

## 第4回タイムライン検討会（読み合わせ形式）

平成30年6月29日（出水期前）予定

## ○流域タイムライン試行版完成式

- ・完成報告と事務局4者による運用協定式
- ・アドバイザーによる講演
- ・パネルディスカッション 等

試行版の運用

試行版の見直し・修正

**平成30年5月30日(水)13時**

**大雨(土砂災害・浸水害)・洪水警報等の基準改正を行いました。**

**・大雨警報(土砂災害)・大雨注意報の土壌雨量指数基準**

◎対象市町：渡島・檜山地方の全市町

**・大雨警報(浸水害)・大雨注意報の表面雨量指数基準**

・新たな災害データの追加及び表面雨量指数の計算方法の改良を踏まえて、基準を改正しました。

◎対象市町：福島町

**・洪水警報・注意報基準**

・昨年7月の運用開始以降の実績において、一部の格子の基準値が低めに設定されているため、注意報や警報が発表されたのにも係らず対象とする災害が発生しないという事例が幾つか出現しました。このため、今回これら一部の格子の基準を改正しました。

◎対象市町：七飯・厚沢部・今金各町を除く各市町

**基準の改正により、災害との対応がより適切な警報・注意報の運用が見込まれます。**



# 流域雨量指数を使った水位上昇のおそれの把握

○流域雨量指数の予測値が徐々に高まり、洪水警報等の基準値に接近・到達・超過していく状況（到達状況に応じて色分け表示される。）をもって、その後の水位上昇のおそれを把握することに活用願います。

( X 月 XX 日 14 時 30 分現在)

現在時刻

市区町村	基準河川	基準Ⅲ		基準Ⅱ (警報基準)		基準Ⅰ (注意基準)		02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	既往 最大事例
		単独 基準	複合 基準	単独 基準	複合 基準	単独 基準	複合 基準	時 分																			
日町	C 川	48.8	45.1		22.6	6.4	11.0	11.2	11.4	11.7	12.0	12.3	12.6	12.8	13.0	13.1	13.3	13.5	13.9	14.5	15.6	18.0	26.5	42.5	54.3	42.2 (1998.09.16)	

防災情報提供システムでは、C 川の河口付近の流域雨量指数が表示されているので、河口付近においても 20:00 頃には警報基準を上回ることが予測されていることになる。

## 掲載場所

①「気象警報・注意報など」をクリック

Home | 気象警報・注意報など | 地震・津波・火山 | 天気予報など | 気象監視 | 設定管理

警報・注意報  
渡島・檜山地方  
平成30年05月25日 09時04分 発表  
注意警戒文  
注意報を解除します。



②「流域雨量指数の予測値」をクリック

防災情報提供システム  
渡島・檜山地方の防災情報

流域雨量指数の予測値

更新  
平成30年05月25日 17時00分現在  
河川 全て

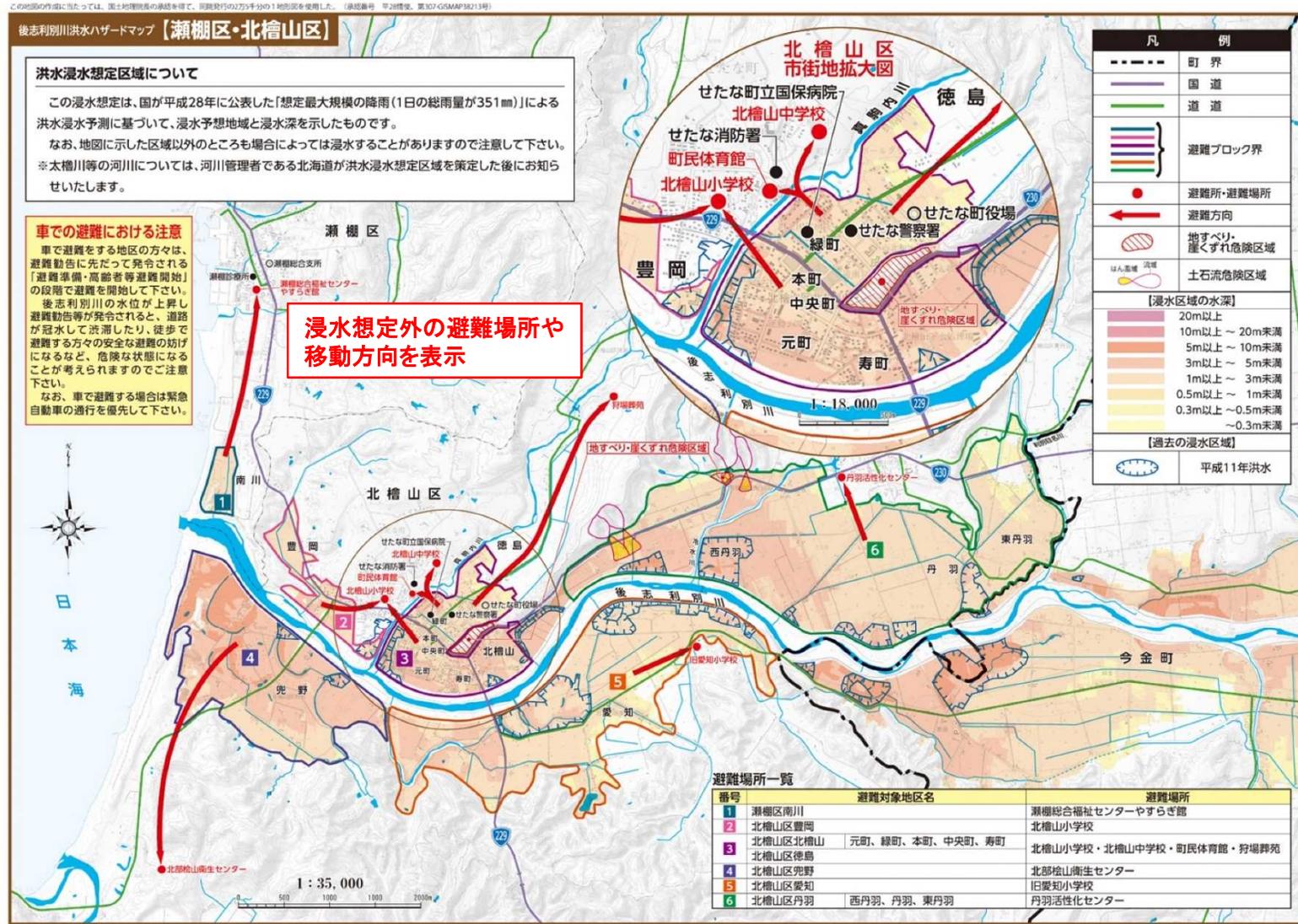
基準河川	市区町村	基準Ⅲ 単独基準	基準Ⅱ (警報基準) 単独基準	基準Ⅰ (注意基準) 複合基準	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	既往 最大事例
後志利別川	せたな町		31.2	22.2	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8	4.9	5.0	5.1	5.2	5.3	5.5	5.6	5.6	5.7	5.7	5.6	5.6	5.5	5.5	44.7 (2010.07.23)
赤駒内川	せたな町	22.2	18.6	14.8	12.2	1.7	1.4	1.4	1.4	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	18.4 (2010.07.23)	

# 【せたな町】想定最大規模による洪水ハザードマップの公表について

資料⑤-1

- 後志利別川の浸水想定最大規模による洪水ハザードマップを平成29年12月公表
- 浸水想定区域の拡大に伴う避難場所、経路等の見直し

せたな町URL [http://www.town.setana.lg.jp/kurashi/bousai/post\\_136.html](http://www.town.setana.lg.jp/kurashi/bousai/post_136.html)

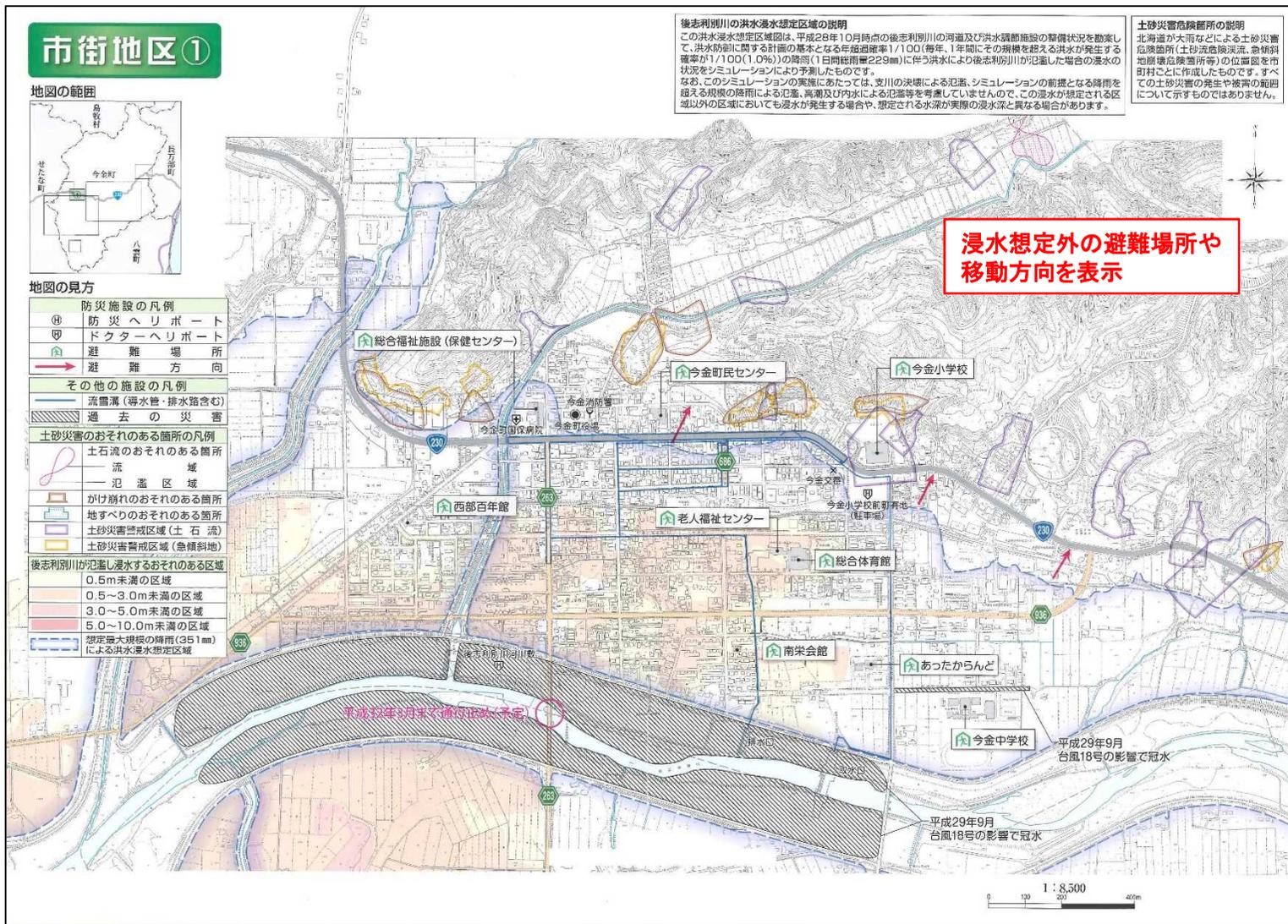


# 【今金町】想定最大規模による洪水ハザードマップの公表について

資料⑤-2

- 後志利別川の浸水想定最大規模による洪水ハザードマップを平成30年3月公表
- 浸水想定区域の拡大に伴う避難場所、経路等の見直し

今金町URL [http://www.town.imakane.lg.jp/gyousei/kurashi/syoubou/2710\\_1.html](http://www.town.imakane.lg.jp/gyousei/kurashi/syoubou/2710_1.html)



# 【今金町・せたな町】後志利別川減災対策講演会の開催

○後志利別川の減災に向けた取組の一環として、洪水時の適切な避難行動や浸水被害の軽減のために、「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目した、予め行うべき防災行動とその実施主体を時系列で整理する水害タイムラインについて、より理解を深めていただくため、今金町とせたな町において専門家による講演会を開催。

## 後志利別川減災対策講演会概要

**目的：**後志利別川流域全体での防災力の向上を図るため、減災対策協議会に参画する関係機関や地域住民の防災意識向上を目的とし開催したものであり、今後、流域内の関係機関や町内会等が連携したタイムライン構築にむけ理解を深めるもの

### 【今金町開催】

**実施日：**平成29年7月11日(火)  
**実施場所：**今金町民センター（今金町今金68）  
**主催：**今金町、函館開発建設部  
**参加機関：**自治会・町内会長、町職員、町議員、建設協会、函館開発建設部等  
**参加人数：**86人

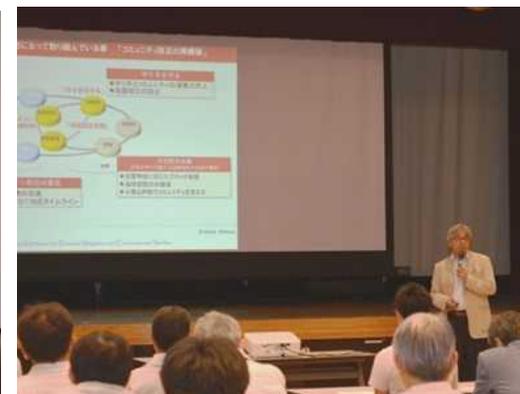
### 【せたな町開催】

**実施日：**平成29年7月12日(水)  
**実施場所：**せたな町民ふれあいプラザ（せたな町北檜山区徳島8-1）  
**主催：**せたな町、函館開発建設部  
**参加機関：**函館地方气象台、函館建設管理部、せたな警察署、今金消防署、せたな消防署、町職員、町内会長、町議員、建設協会、函館開発建設部等  
**参加人数：**60人

## 実施状況



今金町講演



せたな町講演



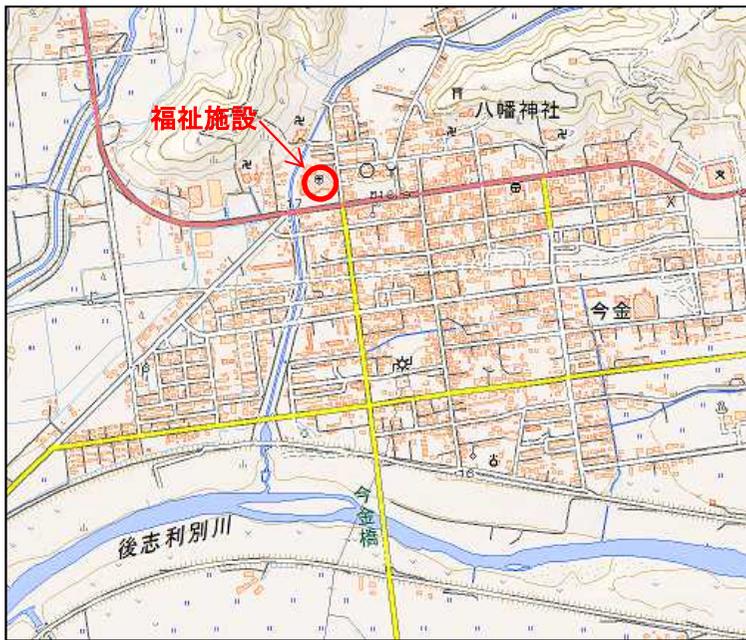
会場の様子（今金町）



会場の様子（せたな町）

- 避難訓練を大和町、栄町、緑町、商工団地、トマンケシの5町内会の住民を対象に実施、炊き出しの提供
- 今金河川事務所により「近年の洪水と後志利別川流域タイムラインの果たす役割」について講演、各機関によるパネル展示等

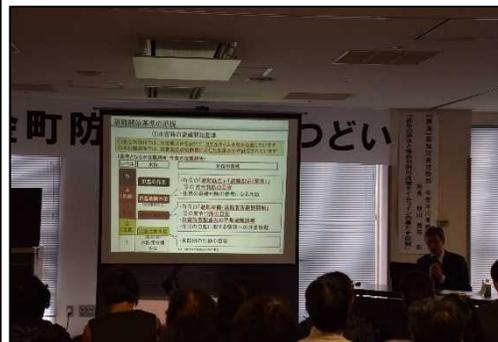
- 実施日：平成29年11月19日(日)
- 場所：今金町総合福祉施設「としべつ」
- 参加機関：今金町、今金消防署、地域住民、函館建設管理部、函館地方气象台、自衛隊函館開発建設部等  
約210名
- 実施内容：地域住民を対象とした避難訓練  
近年の洪水、後志利別川流域タイムラインについて講演  
各機関でパネルや防災グッズ、災害対策機械等を展示



避難訓練の様子



今金町長による訓練講評



今金河川事務所長による講演



炊き出しの提供



各機関パネル等展示



災害対策機械展示

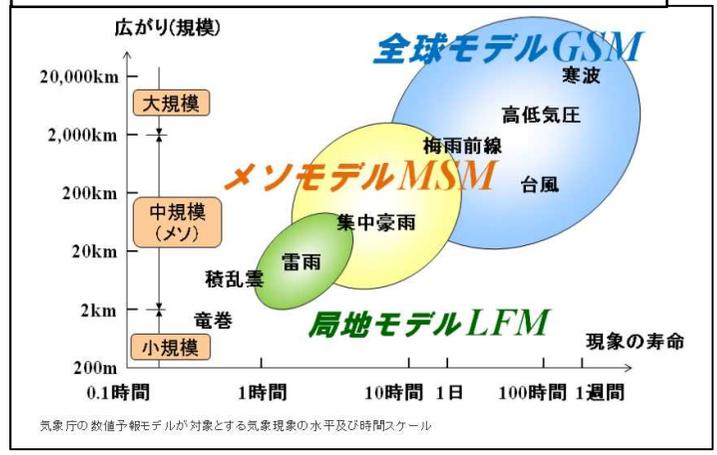


- ダムの洪水調節等を適切に運用するためには、降雨予測等の防災気象情報を用い流入量の予測をしておくことが欠かせない。
- 相互の防災業務の理解を深め防災対応時の情報共有を円滑に行うこと目的に、美利河ダムと函館地方気象台が意見交換会を実施。

- 実施日：平成29年11月16日(木)  
場所：函館地方気象台
- 参加機関：函館地方気象台、  
函館開発建設部（美利河ダム管理支所、  
今金河川事務所、工務課）
- 実施内容：美利河ダムからはダムの概要やダム放流操作時における降雨予測の活用方法等について説明  
気象台からは注意報警報発表及び解除の考え方や降雨予測モデルの信頼性と今後の展開等について説明



気象台が使用している降雨予測の各モデルの特徴



## 目的

○災害時に迅速かつ的確な水防活動を実施するために、個々の水防技術の向上と若い世代への伝承を目的として、被災要因別の代表的な水防工法の実技講習をした。

○水害対策に関する技術力・対抗力向上を図るため、今金町・せたな町・北海道・北海道開発局等が連携し実施した。

日時:平成29年7月24日(月) 13:30~16:30

場所:せたな町 北檜山区 後志利別川右岸 真駒内川合流点付近北檜山排水機場前(右岸KP2.7)

参加者:今金町、せたな町の役場と消防署、災害協定会社、函館建設管理部今金出張所、函館開発建設部等~約80名

## 訓練状況

①水防工法に使用するなわの結び方の講習



②改良積土のう工(杭省略型)



現地講習会場

③シート張り工



④木流し工



平成24年4月の斜面崩落時に、この工法を実施。

⑤月の輪工



平成11年8月の洪水時に、この工法を実施。

## ○氾濫水の排水、施設運用等に関する取組として、排水ポンプ車等の操作訓練を実施

- 第1回実施日：平成29年6月29日(木)  
 場所：後志利別川兜野2号樋門付近  
 参加機関：渡島総合振興局、せたな町、松前町、  
 八雲町、建設業協会、災害協定業者  
 函館開発建設部
- 第2回実施日：平成29年7月27日(木)  
 場所：後志利別川豊田3号樋門  
 参加機関：災害協定業者、函館開発建設部
- 第3回実施日：平成29年9月13日(水)～夜間  
 場所：後志利別川兜野2号樋門付近  
 参加機関：災害協定業者、函館開発建設部
- 実施内容：水害時の迅速な氾濫水の排除を行うため、災害協定業者に対して、排水ポンプ車及び照明車等災害対策用機械の操作訓練を実施  
 また、参加機関に出動要請時の運用や訓練内容の説明  
 今後も継続的に実施



今金河川事務所保有機械  
 ・ポンプ車1台  
 ・照明車1台  
 ・ポンプユニット1台  
 ・ポンプパッケージ2台



今後のスケジュールについて



## 平成30年6月（出水期前）減災対策幹事会

- ・ 道管理区間、道管理河川における函館建設管理部の取組方針（案）と今後の取組について
- ・ 取組方針（国管理区間）フォローアップについて
- ・ 規約改定等



## 平成30年6月（出水期前）減災対策協議会

- ・ 道管理区間、道管理河川における函館建設管理部の取組方針（案）と今後の取組について
- ・ 取組方針（国管理区間）フォローアップについて
- ・ 規約改定等



## 適宜 減災対策協議会 幹事会

- ・ 出水時の課題についての共有
- ・ 国管理区間+道管理区間、道管理河川を対象とした、概ね5年以内で実施する今後の取組項目の見直しについて



## 平成30年度内 減災対策協議会

- ・ 取組方針（国管理区間+道管理区間）の見直し等について



以降、出水期前に毎年協議会を開催し、フォローアップを実施  
取組方針についても必要に応じて見直し